

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	竹内 一也
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3614
<b>事務事業名</b>	4268 中学校施設整備事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100301 教育費・中学校費・学校管理費										
	<b>事業</b>	030000 中学校施設整備事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、児童の安全確保や教育環境の改善を図る。						生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の危険箇所や痛みの著しい箇所を優先的に改修する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成22年度 実績</b>	<b>平成23年度 実績</b>
<b>平成24年度 実績</b>	<b>平成25年度 実績</b>
墨坂中学校校舎整備事業では地質調査及び設計委託を賃貸借のなかで実施したため実績なし	墨坂中学校特別教室等改修工事
<b>平成26年度 実績</b>	<b>平成27年度 予定</b>
相森中学校外構整備工事 中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事（1校）	相森中学校昇降口外壁改修工事 中学校屋内運動場・武道場非構造部材耐震化工事（3校）

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		28,146	146,500
特定財源	国庫支出金	5,494	46,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	10,300	92,000
	その他	0	0
一般財源		12,352	8,500
人員数(人)	正規職員	0.4	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,743.2	3,429.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,743.2	3,429.0
市民一人当たりの経費		0.6	2.9
総額		30,889.2	149,929.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,189	測量設計委託料
15節 工事請負費	21,957	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,500	測量設計委託料
15節 工事請負費	143,000	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	生徒が安心安全で快適に学校生活が送れるようにするため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	生徒が安心安全で快適に学校生活が送れるよう施設整備を行なっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修を行なっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、生徒が安心安全で学校生活が送れるよう施設の整備を行なった。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、生徒の安全確保や教育環境の改善を図る。		耐震化等を実施することで、安全確保が保持された学校生活を送れるように、施設整備の実施が必要である。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	